

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	良く なっている やや良く	商店街（代表者）	来客数の動き	・久しぶりの大型シルバーウィークで、期待以上に入出が良い。
		百貨店（店長） コンビニ（経営者） コンビニ（経営者）	お客様の様子 お客様の様子 単価の動き	・客の動きが活発になったように見える。 ・今年はシルバーウィークの天気も良く、多くの観光客が来店している。 ・3か月前よりも、客にとって魅力的な商品が多かったようである。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・主要な商品群がすべて価格上昇している。テレビ15,000円、パソコン6,000円、スマートフォン4,000円、冷蔵庫3,000円、洗濯機7,000円、エアコン2,000円と単価が上がり、高品質商品がよく売れている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客の動き、単価共に前年同期と比べて良い方向にあるが、平日と週末、連休の客の動きが極端すぎる。	
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・シルバーウィークは、旅行需要が増加している。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・客足は夏から好調であるが、特にシルバーウィークの入込は、臨時駐車場や施設内の乗り物が完全にキャパシティを超える混雑ぶりであった。	
	ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・10月の予約は順調である。	
	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・60～80歳くらいの高齢者が集まる会に呼ばれて、話をすることがあった。少子化と言われているが、ここ10～15年の間に膨大な数の方が確実に亡くなっていく。自分たちの番が回ってくる、その時までには何をしたら良いのか、心構え、家族に対してなど、いろいろ考えているようである。もちろん、葬儀の価格も知りたいといった、大きなうねりのようなものを感じている。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・毎年、毎月、同じことになるが、買物客が大型店に向いており、小規模店には向いてこない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街でのプレミアム付商品券の利用は期待はずれで、大半は大型店へ行っている。スーパーでの食品購入が多いようである。
商店街（代表者）		販売量の動き	・運動会シーズンに入っているが、今年も前年と同じくらい商品が動いている。	
一般小売店[家電]（経営者）		お客様の様子	・相変わらず商品の動きは鈍い。必要なものの購入はあるが、売手側の施策には乗ってこない。プレミアム付商品券も使用目的を決めて購入しているケースが多いのか、当初ほどの利用はない。	
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・天候不順も重なり、婦人、紳士アパレルの不振が目立っている。来客数に対し、売上は上がらず、購買率の低下がみられる。	
百貨店（副店長）		販売量の動き	・8月下旬から一気に気温が下がり、衣料品を中心に秋物が動き、9月もそのまま好調なスタートを切ることができている。しかし上旬の台風以来、洪水、安保関連法案審議、凶悪事件など世相が悪く、一気に客の消費意欲にストップがかかった印象である。シルバーウィークも期待していた売上には全く届いていない。長期休暇で旅行に出かけた方が多いのだろうが、衣料品も前倒しで購入しただけで、実需期に入り追加で購入しようという気持ちにはならないようである。	
スーパー（統括）		来客数の動き	・プレミアム付商品券が県内すべての地域で出そろったが、プラスアルファを生み出すまでには至っていない。また、前年に比べ雨天の日が多く、徒歩や自転車の客が減少して自動車の客が増えたものの、来客数全体では横ばいであり、生活防衛意識の高まりからか、買上点数が若干落ちている。	
スーパー（商品部担当）		販売量の動き	・イベント時を除き、ここ数か月、売上、来客数、客単価などの数値に変化がない状態が続いている。	
スーパー（副店長）		来客数の動き	・前年よりは多少良いが、1か月を通してみると、あまり変化がない。シルバーウィークのプラス分がなければ、多少低下しているとも、判断できる。	
コンビニ（店長）		販売量の動き	・今月は、来客数は若干増えているが、販売量、売上額は数字的にもあまり大きく変わっていない。天候不順の影響もそれほど大きくはない。	
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・プレミアム付商品券発売の影響と考えられるが、確実に客の購買意欲は高まっている。		

乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車、中古車の販売は、依然として低迷している。地方の景気は上向かず、また、物価上昇などにより、車などへの購入意欲は感じられない。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・新型の軽自動車が発売されても、それを目当てに来店する客は少ない。
乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・消費の低迷により、販売量は減る。
自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・ここ最近、客の自動車を購入する意欲が低下しているのか、もしくは消費税あるいは自動車税等の影響なのか、かなり緊縮傾向である。また、同業他社など各店を回る傾向にある。
住関連専門店 (経営者)	単価の動き	・1品単価は、原価の上昇が売価の上昇となりやや上がっている。ただし、客単価は横ばいであり、店舗の売上高もほぼ横ばいで推移している。営業利益も経費節減を行っているがほぼ横ばいである。
住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・売上は前年と同じであるが、客数が3か月間、前年比97%と減っていることが気がかりである。すぐに使うものや特売品しか、買っていないようである。
住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・消費税増税の反動減から1年経っても、なかなか来客数が戻らない。プレミアム付商品券の効果もほとんどなく、使用率は高まっているが、売上増にはつなげられていない。
スナック(経営 者)	来客数の動き	・来客数は伸びておらず、通行量も少ない。客単価が多少良くなってきているため、全体的にはそれほど悪くはないが、良くなっていない。
スナック(経営 者)	お客様の様子	・当店は小さな飲食店だが、当地は人口が少ない割に競争相手が多く、今後もあまり見通しは良くない。
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・ビジネスホテルだが、茨城県南部の洪水災害に関連し、復興関係の特需で、集客となり、稼働も上がっている。それらを除けば、3か月前と稼働、集客は共に変わっていない。
都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・9月は繁忙日と閑散日の差が激しい。前月までのようなスポーツ団体も特にはなく、個人客中心の予約状況となっている。前年度よりも予約数は増えているが、単価の下落が続いている。
旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・天候不順が響いている。今月も、大きな災害に見舞われ、まだ各地に傷跡も残る。シルバーウィーク前にはある程度の復旧がなされたが、今後もその影響は残る。
旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・海外へのビジネス渡航が減少傾向である。特にタイへの渡航が減少している。国内は変わらず順調であるが、消費税やバス運賃の値上げなどにより、貸切バス利用の旅行は減少している。シルバーウィークの需要は少なく、日帰りや近隣の旅行が多い。
タクシー運転手	単価の動き	・午前中の動きは良いものの、夜の動きがやや悪い。また、運行回数はやや増えているが、単価は下がっている。
タクシー(経営 者)	お客様の様子	・月初の動きは悪かったが、後半には少し良くなり、前年同月と比べて、1%の増収である。
タクシー(役 員)	お客様の様子	・客の様子から、変わらない。
通信会社(経営 者)	お客様の様子	・節約志向に加え、若者世代のテレビ離れも加速し、新規加入は伸びていない。
通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・シルバーウィークの影響を受け、外出に関連する消費は増える。ただ、その反動を受け営業関連の契約件数は横ばいである。
遊園地(職員)	来客数の動き	・シルバーウィークに伴う来客数の増加は見られるものの、3か月前と比べ、推移に大きな変化はない。
競輪場(職員)	お客様の様子	・来客数、購買単価共にほとんど変化がみられない。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・優待時間をギリギリまで利用し出庫する客が多い。また、ふるさと割引券、プレミアム付商品券等を上手に利用し、金額の範囲内で身の回り品ばかりを購入している。そのため、以前と変わらないと判断する。
その他サービス [イベント企 画](職員)	お客様の様子	・イベントに伴う協賛企業の協力具合をみても、景気の高揚感を感じられない。
設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・相変わらず仕事量は少なく、残業もほとんどなくなってきている。
設計事務所(所 長)	来客数の動き	・今月は決算月にもかかわらず来客数は少ない。行事や天候の影響で客足が鈍っていたのも原因の一つである。

	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・消費税増税による特需が落ち着き、次回の再増税の対策で早めに手配しようとする客のみが、動いているものの、販売量は多くない。まだ地方は悪い状態が続いている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・当地では、景気が良くなったとも言えなくなったとも言えない、普通の状況である。ただ、不動産の下落は止まったようである。貸店舗等も少し動きが出てきている。飲食店関係の引き合いはちらほらあるが、事務所やオフィス関係については、ほとんどない。
やや悪くなっている	一般小売店〔家電〕 (経営者)	来客数の動き	・イベント等を催しても、来客数が前年に比較して、少なくなっている。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・前月後半よりは、やや上向きと感ぜられる要素もあり、今月は月初から残暑もあまりなく、秋物商戦が活況を呈するかと思われたものの、出だしから急ブレーキ状態でいまだに向上の兆しが見えない。3か月前と比べるとやや悪くなっている。
	スーパー(店長)	単価の動き	・割引になる特売日や目玉商品のある日以外は、来客数が伸び悩み、単価も落ち込んでいる。
	スーパー(総務担当)	販売量の動き	・前月までは前年比で売上がプラスだったが、今月は前年と同じ状況まで下がっている。衣料品が少し悪いが、住居用品と食品は今月も好調である。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・近隣に競合店ができ、苦戦している。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・今年は残暑もほとんどなく、一気に気温が下がってしまった。シルバーウィークの数日間は多少、盛り上がりを見せたが、全体的には非常に低調な来客数である。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・今年発売された新型車の新車効果も見られなくなっている。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・今月も新車の販売は低位安定である。法人ユーザーからの受注が極端に少ない。また、個人ユーザーも購買意欲が減退しており、契約にまで至らない。異なる角度から検討し、努力していきたい。
	その他専門店〔燃料〕 (従業員)	販売量の動き	・販売量は前年比約5%以上減少している。使用量も減少傾向である。
	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・客単価が低くなり、来客数も減少傾向にある。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夏が終わったばかりで連休が多いこともあるが、人の動きはあるものの、あまりお金が落ちない状況が続いている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夏場の猛暑とその後の長雨といった天候要因もあるが、来客数は前年同期よりも減っている。販促策を講じているが反応は鈍い。プレミアム付商品券の回収は良く利用者も多いが、換金に時間が掛かるので経営を圧迫する。
	観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・9月は、シルバーウィークや、当県のふるさと旅行券の影響で大幅に売上が伸びる予想をしていたが、旅行がシルバーウィークに集中してしまい、その前後2週間の業績が思わしくない。また、10月の予約も前年よりやや悪くなっている。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・9月に入り、当地周辺は観光客もやや少なくなり、来客数が落ちている。観光客のみではなく地元農家の方も、稲刈りなど農作業の繁忙期に入り、あまり町中に出てこない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・当地区は、観光や仕事の人が集まるところではないため、シルバーウィークのような連休が続くとタクシー業にとっては大変厳しい。午後になると駅前まで客を乗せるまでに3時間ぐらいかかる時もあり、深刻である。
通信会社(社員)	お客様の様子	・格安な仮想移動体通信事業者への転出が増加している。	
ゴルフ場(支配人)	それ以外	・台風と雨による大量のキャンセルが発生し、9月中の巻き返しはできない。出勤調整などで人件費削減を行っている。	
美容室(経営者)	来客数の動き	・固定客が少しずつ減少している状況が続いている。客単価を上げるため、高単価の施術を提案するが、なかなか受け入れてもらえず、売上も減少している。	

		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・92,000社余りという自動車整備業界の同業者数増加や、自動車保有台数の減少、地方景気の減速、こうしたなかで、競争が激化している。先行きの需要減少は当分止まらないと推測する。
		設計事務所（所長）	それ以外	・公共工事では、応募はほんの一部の者に限られるといった傾向は地方公共団体にもみられ、これは一部の権益保護であり、さらに言えば、物件の減少によるとも考えられる。
	悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・連休中は普段よりも人出が少ない。天候が良かったため、行楽地や郊外へ流れたのか、人通りが途絶える時間が長く全く仕事にならない。しかも連休前後は天候不順で、悪条件である。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・当地は外国人旅行者が多く来ているが、なかなか販売に結びついていない。そのため、あまり良いとは言えない。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・天候や長雨の影響もあったと思うが、それにしても人が町に出てこない。生きるために必死なのだろうが、どう表現して良いか分からないくらいに悪い。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社は観光地を控えているが、今月は台風の影響が大きく、川沿いの温泉地が孤立するほどの大雨で川が氾濫し、道路が寸断されたりと、当社も工場内が水没したほどである。栃木県北部地域は、台風による大雨の影響で自動車販売は、今月は極端に少なく本当にひどい月である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・上期の最終月であった。以前は下期に向けて受注や見積りが集中したが、東日本大震災以降のここ数年は、デザイン依頼がほぼ皆無である。イベント企画などの案件もほとんど動かない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・お盆からの天候不順に加え、豪雨の影響や、その後の風評被害などにより来客数が減少している。
企業 動向 関連 (北関東)	良く なっている	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・9月は環境装置の販売、設置で大幅な売上増になったが、太陽光発電は雨が続いたため、前年実績の65%である。
	やや良く なっている	食料品製造業 （営業統括）	競争相手の様子	・今月はシルバーウィークの影響もあり、平年より多くの工場見学者の来場があった。売上も順調に伸びている。
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先は十数社あるが9月は仕事が多発発生し、非常に忙しくこなし切れないほどである。
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先である国内自動車メーカーの輸出が増加している。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心の建設業である。現政権のもと公共工事は前年比2.1%増の発注額があり大変有り難い。地方では民間工事はあまり望めないため、発注額も厳しく、利益計上は難しい。建設業は10年以上続いた不況の影響が続いており、経営に関しては相変わらず厳しい。今でも賞与支給が出来ない状況が続いている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光業については、引き続き宿泊状況が良好である。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販促チラシやパンフレットなどの発注数が、前年より20%ほど増えている。7～9月の広告発注も10%増と、販促活動が活発化しているが、9月の集客状況は非常に悪く効果が出ていないため、10月以降の集客に期待がかかっている。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力製品の受注量が予想以上に減少しており、比較的好調な部門の足を引っ張り苦戦している。土木建築現場でも天候不順の影響を受け、製品の消費量が落ちているのではないかと。
		窯業・土石製品 製造業（経営者）	取引先の様子	・夏場の特注品受注に続き、季節商材特注の動きも早まっている。
		窯業・土石製品 製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・見積り依頼の件数が増えてきている。
		金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・注引量があまり変わらず、それに伴い売上も伸びていないため、先行きが不安である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同月比で、売上は、3割減がずっと続いている。10月に前年の1割減まで戻れば良い方ではないが。前年と比べ、かなり低い売上である。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・各社とも自社の方向性を定め、落ち着いてきている。以前に比べ、大きな変化はなく安定して推移している。若干増産も見られるようであるが、まだ大きな増産はない。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・催事のシーズンということもあり、催事の売上は前年比20%増加している。ただ、卸の取引は厳しさを増しており問屋の仕入意欲は低調である。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・台風、長雨など天候不順や自転車罰則規定強化により、傘、長靴、合羽など雨具類が目立って増えているが、全体的には前年並みの輸送量となっている。	
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・非常に少ないパイを奪い合っているため、低価格、小ロットという状況である。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新規管理物件の受注はあったものの、延期や中止になったものもあるため、トータルでは横ばいである。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシの出稿量は、前年比102.4%である。ただし、この中には、統一地方選挙、市議会議員選挙公報が含まれており、前月に引き続き、前年並みである。自動車関連、パチンコ店などの広告が増えている。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・なかなか良くなる気配がみえない。変わらないと回答したが、やや悪くなっているに近い変わらないである。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・事業所により受注が増加しているところもあるが、ほとんどの事業所では大きな変化はない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・上期の期末関連で、小規模案件の販売が増加したが、受注状況に変化はみられない。	
	やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き	・商品単価を上げた分、受注数は減っている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏場より仕事が減少傾向にあり、歯止めの効かない状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の生産体制が厳しいため、10月から主力商品の組立受注が引き上げられてしまう。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べて、公共工事の発注量が少なすぎる。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・中国の景気減速の影響が、製造業を中心に広がっているほか、内需にも弱さがみられる。
		不動産業（経営者）	それ以外	・管理がきちんとされていない物件が増えている。
	悪くなっている			
雇用 関連 (北関東)	良く なっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・労働者派遣法の改正による減速感はない。むしろ受注は前年に比し125%程度で推移しており、春先からの受注減少から反転している。
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者が減少している。リストラされる人が少なくなってきた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求職者数がマイナス23.7ポイント、有効求職者数がマイナス8.2ポイントと共に減少するなか、有効求人数はマイナス5.4ポイントであるが、新規求人数が12.7ポイントと増加したこともあり、有効求人倍率が0.99から1.02へ回復している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関連、電子、農機具など、製造関係の募集が極端に減っている。依然として、建築、建設、土木等の求人は横ばいで推移している。また、介護職は、人員の入れ替えがあるのか、募集は継続的に出ている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・麺類製造の派遣が増加するとみていたが、気温が上がり予想より生産量が減少し、求人数も減少している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・近隣に、老人介護施設の開所が続いており、介護職員の募集が目立っている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数は、製造業、サービス業を中心に引き続き増加しており、事業所の採用意欲は依然として、おう盛である。しかし、非正規求人や派遣求人の占める割合が増加傾向にあり、企業からの業況アンケートでも、求人数が増加している福祉関連、飲食業において最近の業況は厳しいといった回答が多い等、業種間によるばらつきがみられる。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求職者の多い正社員求人に、慎重な企業が多い。

	学校 [専門学 校] (副校長)	求人数の動き	・職種にこだわらければ、求人数は良い。また、企業の採用意欲が非常に高く、高校生も含めて採用状況は良い。
やや悪く なっている	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・職業安定所等を含めた求人情報の動きに変わりがない。求人を出す企業の離職率が高いのか不明だが、決まった企業が多く、魅力的な会社が少なくて働く意欲がわからないのだろうか。
悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・当社は人材派遣業だが、ここ 1 ~ 2 か月で大勢の人間が、派遣先企業から戻されている。現状はあまり良くない。